



[週報]

Weekly Report

RI テーマ

ロータリーに輝きを

国際ロータリー第 2720 地区 熊本南ロータリークラブ

Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

2014-2015 年度 国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン

例会日 / 毎週月曜日 12:30 ~ 13:30

例会場 / 〒860-8536 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日 / 昭和 33 年 9 月 1 日 (承認 昭和 33 年 11 月 24 日)

会長 / 田川憲生 幹事 / 喜讀宣友 クラブ広報委員長 / 古財良一

www.kumamoto-southrc.org

第33回例会記録(通算第 2642 回)

平成 27(2015)年4月27日

斉唱 国家 君が代

ロータリーソング「奉仕の理想」

来訪者紹介

藤本淳様 (九州電力株式会社熊本支社長)

小崎義幸様 (九州電力株式会社熊本支店)

永本義博様 (熊本'05福祉RC 会長)

田中洋子様 (熊本'05福祉RC 副会長)

会長報告(淵田俊郎君)

皆さん、こんにちは。今年は天候不順により、桜の花を楽しむという期間が短かったような気がします。桜の花と言うのは、よく生きざまに例えられ「パッと咲いて潔く散る」そこが桜の魅力ある一面かも知れませんが、私は桜の花とは裏腹にいかに長寿をするかと言う事に気を付けています。先般、雑誌を見ていましたら、人間の長寿ではなく「企業の長寿」の記事がありました。ご覧になった方もあるかと思いますが一寸と目を通してみました。我々、熊本南 RC の中でも野田会員の会社が創業 137 年、濱田会員の会社は創業 125 年という長寿企業があり、熊本南 RC 会員としての誇りとする所でございます。さて、その雑誌の記述によりますと、世界中で創業 300 年以上の企業が 980 社あり、その半数以上の 53%に当る 520 社が日本企業であり、その業態はと言いますと、酒蔵が 88 社、和菓子業が 71 社、続いて旅館が 64 社、その他となってい



本日の卓話は、九州電力(株)熊本支社長 藤本淳様にお話をいただきました。

今日の例会

- 1.今日の歌
- 2.来訪者紹介
- 3.会長・幹事・各委員会報告
- 4.第7回ビジネス例会 藤見泰之君
北口 誠君

今月・来月の行事

- 5/16 熊本第 4G 2015-16 第 1 回会長・幹事会@ホテルニューオータニ
- 5/30 ロータリーリーダーシップ研究会
パート I @アスパル富合
- 6/6-9 RI 国際大会@サンパウロ

るそうです。因みに世界一はもちろん日本企業で、大阪にある金剛組という寺社仏閣を建てる建築会社で、創業 1437 年だそうで西暦 578 年に聖徳太子の命により大阪の四天王寺を建てたと記されています。第 2 位は皆様もよく耳にされる、京都の池坊華道会だそうで創設 1420 年、第 3 位が山梨県の西山温泉にある慶雲館という旅館で創業 1309 年だそうです。このような老舗がなぜ日本に多いのかと言いますと、一つには先の大戦後の一時期を除き他国に支配を受けていないこと。二つ目は日本人の慎ましく勤勉な国民性。三つは顧客のために誠心誠意を尽くすという顧客第一主義ではないかと言われていますが、つまりは勤勉で誠意を尽くし、人を大事にする事が企業を永続させる大きな要素ではないかと思えます。ロータリーに於いても職業奉仕の中に「人のお役に立つ」「人の喜ぶことをする」等、利他の心の精神がありますが、こういう事にも共通するのかなあと感じます。話は変わりますが、今週末からゴールデンウィークに入りますが連休明け早々に地区研修・協議会がでございます。お役を受けておられる方はゆっくり休みが過ごせないかもしれませんが、どうぞよろしく願いいたします。

臨時理事会報告(涸田俊郎君)

- ・向臺行雄様の入会について ⇒ 承認されました。
- ・藤木正幸会員の御船町長選当選について ⇒ クラブより祝電を送ることが承認されました。

幹事報告(喜讀宣友君)

1. RI 第2720地区 ローターアクトより「第30回地区ローターアクト研修会本登録及び、ロータリー及び次年度ローターアクトクラブ会長部会のご案内」が届いております。参加希望の方は申込書にご記入をお願いいたします。
2. 熊本'05福祉ロータリークラブより「創立10周年記念式典のご案内」が届いております。参加希望の方は登録申込書にご記入をお願いいたします。
3. 本日例会終了後「臨時理事会」を開催いたします。関係各位はご参加をよろしくお願いいたします。
4. 来週5/4(月)は祝日のため休会です。次回は5/11(月)となります。ご注意ください。
5. 5/1(金)都合により事務局は終日不在します。ご迷惑をお掛けいたします。よろしくお願い申し上げます。

出席報告(坂本幸樹君)

会員数	出席数	出席率	前々回 修正出席率
60名	34名	61.82%	85.96%
出席規定適用免除者 5名		欠席記録免除者 2名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

例会変更のお知らせ

ございません

◆熊本'05福祉ロータリークラブよりご案内

永本義博様(熊本'05福祉RC 会長)
田中洋子様(熊本'05福祉RC 副会長)

創立10周年記念式典のご案内

開催日 2015年8月22日(土) 15:00~

会場 熊本ホテルキャッスル「クリスタルホール」
多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

委員会報告

●職業奉仕委員会(北口 誠君)

ご案内しておりますとおり、5/18(月) 15:00~株式会社キューネット様にて、今年度第2回目の職場訪問を開催いたします。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

●スマイルボックス(園田修司君)

- 永本義博様・田中洋子様(熊本'05福祉RC) III
おかげさまで熊本'05福祉ロータリークラブも創立10周年を迎えることができます。つきましては、記念式典並びに祝賀会を8月22日ホテルキャッスルにて開催いたします。どうかよろしく願いいたします。
- 涸田俊郎君・喜讀宣友君・西川尚希君
本日の卓話者、九州電力株式会社 藤本淳一様に心から感謝いたします。短い時間ではありますが、よろしく願いいたします。また、本日のご来訪者 熊本'05福祉RCの会長 永本義博様、副会長 田中洋子様を歓迎いたします。創立10周年おめでとうございます。
- 田川憲生君
今日の例会は別件があり欠席させていただきます。また、本日の卓話者 九州電力株式会社 藤本支店長のお話を聞けないのが残念です。お詫びのスマイルです。
- 堀川貴史君・久峨章義君・漆島典和君
熊本'05福祉RCの会長 永本義博様、副会長 田中洋子様のご来訪を歓迎いたします。創立10周年、誠にありがとうございます。
- 後藤 博君・久峨章義君・高宮 宏君・野口泰則君
今村浩昭君・倉崎保広君・田邊信一君・吉永彰一君
馬場大介君・原 裕一君・園田修司君・丸山浩之君
玉田光識君・古財良一君・三角雄介君・藤見泰之君
井上雅文君・坂本幸樹君
藤木正幸君、御船町町長当選おめでとうございます。みんなで応援した甲斐がありました。これからです。これから御船町をより良い町にしてください。また、熊本'05福祉RCの永本様・田中様、九州電力(株)の藤本様・小崎様のご来訪を心から歓迎します。
- 寿崎 肇君
韓国RI第3630地区 地区大会に参加してまいりました。参加された韓国のPG20名ほどとお話をしました。この地区に参加するのは今回が最後です。「別れは言うな」と言われていましたので、じっくり改めて顔を覚えてまいりました。来年ソウルで世界大会があります。日本から1万人が目標とのこと。ガバナー出身クラブの熊本南RCからたくさん参加してくださいとのことでした。
- 塩井泰明君 ★リレースマイル★
本日は私用のため休みます。体は少しずつ良くなっています。改めて皆さまとご家族の健康を祈念いたします。次は藤見泰之君にお願いします。

●外部卓話(三角雄介君)

「電力事業を取り巻く最近の状況について」

藤本淳一様(九州電力株式会社 熊本支社長)

熊本電ロータークラブ 卓話資料

電力事業を取り巻く最近の状況について

平成27年4月27日
九州電力株式会社
執行役員 熊本支社長
藤本 淳一

九州電力
電力をまわす、暮らしを支える。

当社の収支・財務状況の推移【個別】

(収支状況)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26-3Q	H26年度(見込み)
営業収益	541億円	▲2,285億円	▲3,300億円	▲1,372億円	▲5,706億円	▲1,050億円
営業力増進率	81.1%	31.4%	0%	0%	0%	0%

再掲期間: 10/1(前)～11/2(前)7日、12/4(前)～1/2(前)12日、2/2(前)～3/1(前)10日

(純資産)

(参考) 電力各社の決算見通し【個別】

地域	H26年度見通し		電力前年増進率	
	経常収益	販売力増進率	前年	前年
北海道	▲130	301	20.79	
東北	800	769	21.36	
関東	1,790	2,593	23.26	
中部	300	1,244	20.53	
北陸	110	277	16.08	
関西	▲1,700	1,364	20.59	
中国	380	580	18.03	
四国	170	264	19.49	
九州	▲1,050	815	18.99	
洋	45	76	22.40	

※ 電力前年増進率は、H25年度3Q(前)増進率をベースに2Q(前)～4Q(前)の電力増進率/販売力増進率

当社の今夏の電力需要

(1) これまでの電力需要実績

- 震災前の最近5カ年の時間最大電力は、ほぼ1,700万kW台半ばで推移。
- 震災以降、時間最大電力は、お客さまの節電への取り組み等により、記録的な猛暑となったH25年度を除き、1,500万kW台で推移。

当社の今夏の電力需要

(2) ピーク発生時間帯の推移

- 震災以降、ご家庭のお客さまなどにエアコン等を中心に節電にご協力いただいたことなどで、ピークが16～17時に多く発生。
- このような状況を踏まえ、今夏の需給見通しにおけるピーク時間帯は、16～17時で想定。

【ピーク発生時間帯の推移(8月平日(お盆除き))】

当社の今夏の電力需要

(3) 今夏の電力需要想定

- 今夏の時間最大電力は、アンケート調査に基づき今夏の節電効率▲151万kWを見込み、平年並み見込の場合で1,547万kW、平成25年度並み見込の場合で1,643万kWを想定。

当社の今夏の需給見通し (1) 原子力の再稼働がない場合

● H25年並み猛暑の場合の最大電力需要に対し、他電力会社からの取寄せ供給などこの供給力対応を踏まえて、電力の安定供給に必要となる予備率(予備率:%)を算出。

	7月	8月
需要	1,643	1,643
供給力(合計)	1,693	1,693
原子力	0	0
火力	1,227	1,227
水力	113	109
揚水	200	215
太陽光・風力	65	67
地熱	16	16
蓄電池	74	▲1
新電力等	▲1	▲1
予備力	50	50
[予備率]	[3.0%]	[3.0%]

当社の今夏の需給見通し (2) 川内原子力が再稼働した場合

● 仮に、川内原子力が再稼働した場合の今夏の需給見通しは、他電力会社からの取寄せ供給なしで、予備率は、4% (1基稼働)～11% (2基稼働)程度と試算。

	7月	8月
需要	1,643	1,643
供給力(合計)	1,708	1,727
原子力	89	89
火力	1,227	1,227
水力	113	109
揚水	200	221
太陽光・風力	65	67
地熱	16	16
蓄電池	0	0
新電力等	▲1	▲1
予備力	65	64
[予備率]	[4.0%]	[5.1%]

再生可能エネルギー導入拡大に向けた当社の取組み

○ 太陽光、風力、地熱、水力、バイオマス発電などの再生可能エネルギー(以下、再エネ)は、国策エネルギーであり、供給拡大に向けて国に指導があることから、企業が先行から、今後も電力の安定供給を前提として、新たなエネルギーの導入、各種再エネ電源の活用を促しながら、ハウスの取れた再エネの導入に最大限の取組を進めています。

- 【住宅の取組み】
 - 雨水貯留の活用
 - 節電の需要を上回る再エネによる電力を、夜間帯において雨水発電を行うこと
 - 地中埋設配管の活用
 - 需要を上回る再エネによる電力を、隣町連系線を通じて、九州域外へ送電すること
 - 蓄電池の活用(蓄電貯蔵型)
 - 平成27年度に世界最大級の蓄電池(出力57kW、容量307kWh)を蓄電発電所内に設置する。電力系統に接続し、需給バランス改善に関する実証を実施

参考資料

当社の原子力発電所の概要

(平成27年4月26日現在)

発電所	種別	運転開始年月日(運転開始)	出力(万kW)	新規発電用炉心設置済状況	原子力発電営業許可	工事計画認可	備考
玄海	1	昭和50年10月15日(29年)	55.9	—	—	—	H27.3.18運転終了が決定
	2	昭和50年3月30日(34年)	55.9	—	—	—	
	3	平成10年3月18日(21年)	118	H25.7.12(審査中)	(審査中)	(審査中)	
川内	4	平成9年7月25日(17年)	118	H25.7.12(審査中)	(審査中)	(審査中)	
	1	昭和59年7月4日(30年)	89	H25.7.8	H26.9.10	H27.3.18	
新燃	2	昭和60年11月28日(29年)	89	H25.7.8	H26.9.10	(審査中)	

川内原子力発電所における取組み状況 12

○ 川内1号機の工事計画認可申請については、3月18日に原子力規制委員会より「認可」をいただきました。
3月19日に、原子力規制法に基づき、発電所の安全対策が工事計画認可のとおりであることを確認する検査を実施するため、川内1号機の稼働前検査申請書を、同委員会へ提出し、3月30日から検査が開始されています。

○ 2号機の工事計画認可申請、川内原子力発電所の保安規定変更申請についても、全社を挙げ全力で対応しており、準備が整い次第申請書を提出いたします。(4月中目標)

H25年 7月 8日 新規制基準適合性審査への申請書提出(1、2号機)
(原子力発電所変更許可・工事計画認可・保安規定変更許可)

H26年 9月10日 原子力発電所変更許可
H27年 3月18日 工事計画認可(1号機)
H27年 3月19日 稼働前検査申請(1号機)
H27年 3月30日 稼働前検査開始(1号機)
H27年 4月22日 新規制基準適合性審査の単位が却下
H27年 4月末 工事計画認可の修正書提出予定(2号機)
保安規定変更許可の修正書提出予定

(参考) 川内原子力発電所1号機の稼働前検査 13

1 検査事項
 一号検査：材料、寸法、外観、溶接、組立、漏れなどを確認
 二号検査：原子炉に燃料を装填することができる状態になった後に、機能又は性能を確認
 三号検査：原子炉の運転を開始することができる状態になった後に、機能又は性能を確認
 四号検査：定額出力運転時に、発電所の総合的な性能を確認
 五号検査：原子力発電所の構造検査
 ※ 二号検査(原子力発電所の構造検査)：新規制基準の発行による変更はなしの検査不要

2 検査を受けようとする工事の工程

平成27年	3月	4月	5月	6月	7月	8月
		一号検査				
		二号検査				
		三号検査				
				四号検査		
						五号検査

3 申請に係る発電用原子炉施設の稼働の予定時期
平成27年8月

(参考) 川内原子力発電所再稼働防止仮処分 14

申立日	平成26年5月30日	
決定日	平成27年4月22日	
裁判所	鹿児島地方裁判所	
当事者	福岡川内市の住民を含む12名	
申立の目的	川内原子力発電所1、2号機の運転停止	
決定の目的	申立て却下(当社勝訴)	
裁判所の主張と裁判所の決定理由	原告者の主張 被告：基本運動の想定に問題がある。安全性が不十分である 火災時：川内1、2号機は火災により破壊される可能性がある 避難計画：避難計画は不十分で事故が起これば危険がある	鹿児島地裁の決定理由 当社の取組等は原子力施設の耐震安全性の確保に相当する取組(耐震設計等で安全上の余裕確保、重大事故対策実施等) 各種調査の実施による影響を評価している火災時の取組により一定程度裏づけられている 避難計画において一応の合理性、実用性を果たしている

玄海原子力発電所における取組み状況 15

○ 玄海3、4号機の審査への対応については、川内1、2号機の対応を優先実施しており、川内の手続終了後、速やかに原子力発電所変更許可の修正書を提出できるよう準備中。

○ 平成27年3月18日、玄海1号機の運転終了を決定し、国に届出を行いました。
 ・ 今後のスケジュールなどは、これから検討していきます。
 ・ 解体工事は安全を最優先に行います。

H25年 7月12日 新規制基準適合性審査への申請書提出(3、4号機)
 H26年 9月12日 基準地費、津波電ね了承(3、4号機)
 H27年 3月18日 1号機の運転終了決定

電気の品質 (1) 16

○ 電気の品質とは?
 ① 周波数が一定であること
 ・ 日本は50Hz、西日本は60Hz
 ② 電圧が一定であること
 ・ 家庭用では101±6V
 ・ 202±20V

※ 周波数が異なる西日本で異なる理由
 電気を生ずる発電機は、明治時代に輸入。当初、関東にはドイツから50Hzの発電機が、関西にはアメリカから60Hzの発電機が輸入された。これらを中心に、次第に各地の電力会社が広がり、東西の周波数の違いが形成。
 ・ 50Hz地区：北海道、東北、関東電力
 ・ 60Hz地区：中部、北陸、関西、中国、四国、九州、沖縄電力

○ 周波数とは?
 ・ コントラクトからの出芽電圧は交流(電圧・電流が、プラスからマイナスまで、一定時間で変化を繰り返す)
 ・ 1秒間にこの繰り返し回数となるものを周波数(単位：ヘルツ、Hz)
 [交流電圧・電流の変化]

電気の品質 (2) 17

○ 周波数を一定にするためには?
 ・ 電気の使用(需要)と発電(供給)をバランスさせる(⇒回送回線)
 ・ 需要と供給のバランス(供給バランス)が崩れると
 ・ 需要<供給 ⇒ 周波数は上昇
 発電機が需要を大きく上回ると、供給バランスが崩れて周波数が上昇し、場合によっては、自動的に発電機が停止して、周波数を一定に維持するが結果となり、大規模な停電となる恐れ
 ・ 需要>供給 ⇒ 周波数は低下
 電気の使用(需要) = 発電(供給)

○ 周波数が変動した場合の影響は?
 ・ 製造工程で使用しているモーター回転数の変動による製品ムラ(品質不良)の発生(錆び、割れなど)
 ・ 機器の損傷
 ・ モーターは、周波数が上がると回転数も上がるため、振動や発熱により損傷する恐れがある
 ・ 発電機では、数%程度の周波数の変動でも損傷する可能性がある(実際には、損傷に至る前に周波数の異常を検出し、発電機を自動的に停止させ、損傷を防止)

電気の品質 (3) 18

○ 太陽光発電だけで安定供給は可能か?
 ・ 太陽光の発電電力は、天気(日照量)次第で、夜間は全く発電できず、需要と供給を一致させられないため、安定的に供給することは困難
 ・ 安定的な供給を行うためには、太陽光による供給の不足を他の電源の発電電力で調整するなど、太陽光以外の電源との組み合わせが必要
 ・ 太陽光発電電力の急激な変動にも対応できるよう、発電機も一定量を系統に接続しておく必要がある(ゼロにはできない)

【例会予定】

- 5/11 ビジネス例会 藤見泰之君・北口 誠君
- 5/18 外部卓話 ボヘミアンブラザーズ様
- 5/25 会員卓話 阪田英治君
- 6/1 外部卓話 高杉 稔様
- 6/8 ビジネス例会 井上雅文君他(調整中)
- 6/15 外部卓話 島崎征夫様(熊本県企画振興部 部長)
- 6/22 常任委員長退任挨拶
- 6/29 会長・副会長・幹事退任挨拶

【RAC-IACの例会日程について】

- 熊本南ロータリーアクトクラブ例会(第1・3木曜日)
 日時:5月21日(木)20:00~
 場所:西部ガス
 内容:来期引継勉強会
- 熊本国府高校インターアクトクラブ例会(第1・3水曜日)
 日時:5月20日(水)16:00~
 場所:国府高校
 内容:未定

ただし、学校の都合上(他団体が施設を利用する場合や生徒の課外、職員の会議等)、急遽変更される場合もあります。

ご出席の場合は、メーキャップに充当することが可能です。